

## 安全データシート

作成日 2017年5月1日

改定日 2021年3月29日

## 1. 化学物質等及び会社情報

製品名: ウォーターカッター, ウォーターカッター(側面用)

整理番号: 製安-IX-524-02

会社名: アオイ化学工業株式会社

住所: 広島市安佐南区相田1丁目1-26

電話番号: 082-877-1341

FAX番号: 082-879-7260

この安全データシートに関する問合せ先(技術開発課) 電話番号: 0826-46-3511

推奨用途および使用上の制限: 橋梁・コンクリート構造物等の水切り材

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類: 分類基準に該当しない

通常の使用および保管において物理・化学的に安定な物質

## 3. 組成、成分情報物質

成分	CAS No.	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	含有率
エチレンプロピレンジエン共重合体	25038-36-2	(6)-47	25~30%
酸化亜鉛	1314-13-2	(1)-561	1.6%
酸化カルシウム	1305-78-8	(1)-189	2.5%
石油系炭化水素油	64741-88-4 64742-65-0 64742-54-7	(9)-1692	15~20%

## 4. 応急措置

吸入した場合: 通常の手配では該当しない。

皮膚に付着した場合: 人体への特別な影響はないが、必要に応じて石鹸を使って洗浄する。

目に入った場合: 清潔な水で洗眼した後、異常があれば眼科医の診断を受ける。

飲み込んだ場合: 水でうがいする。必要に応じて医師の診断を受ける。

予想される急性症状及び遅発性症状: 情報なし

最も重要な兆候および症状: 情報なし

## 5. 火災時の措置

消火剤: 水噴霧、粉末、二酸化炭素、泡、乾燥砂

特有の消火方法: 付近の着火源を絶ち、保護具を着用して風上から消火する。

熱分解、不完全燃焼により黒煙、一酸化炭素、その他の有害ガスが発生する可能性があり、状況に応じて消火用防毒マスクや防火服等の保護具を着用する。

消火を行う者の保護: 保護衣、呼吸保護具、保護眼鏡等。

## 6. 漏出時の措置

本製品は通常の手配で固体であり該当しない

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い: 強い衝撃による梱包ケースの破損に注意する。

保管: 直射日光を避け、水に触れないようにして屋内に保管する。

荷崩れを防止する為、段積みには十分注意の上出来るだけ低くする。

## 8. 暴露防止および保護措置

管理濃度: 設定されていない

許容濃度: 設定されていない

設備対策: 特に必要としない

### 保護具

呼吸器の保護具: 必要に応じて保護マスクを着用する。

手の保護具: 必要により保護手袋を着用する。

眼の保護具: 必要により保護眼鏡を着用する。

皮膚および身体の保護具: 必要により長袖作業着や安全靴を着用する。

衛生対策: 取り扱い後は良く手を洗うこと。

---

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状态、形状、色など: ライトグレー色の固体

比重(密度): ウォーターカッター:0.5(g/cm<sup>3</sup>), ウォーターカッター(側面用):0.3(g/cm<sup>3</sup>)

臭気 微臭あり

溶解度 水に不溶

沸点/蒸気圧/融点/初留点/揮発性: 有用なデータ無し

---

## 10. 安定性および反応性

安定性: 通常の貯蔵・取扱いの条件においては安定。

危険有害反応可能性: 通常の貯蔵・取扱いの条件においては安定。

---

## 11. 有害性情報

常温の取り扱いにて特に有害性なし。

---

## 12. 環境影響情報

特に有害性はない

---

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物: 都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。  
一般の有機物と同様の廃棄処理をする。

汚染容器および包装: 都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。  
その他、廃棄物の処理および清掃に関する法規制の定めるところに従う。

---

## 14. 輸送上の注意

転倒、落下、損傷の無い様に積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

---

## 15. 適用法令

特になし

---

## 16. その他の情報

### 参考文献

国際化学物質安全性カード(ICSC)

製品安全データシート作成指針(日本化学工業協会)

JIS Z 7250 (日本規格協会)

各原材料メーカーの SDS

※ここに記載された情報は、当社の最善の知見に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。すべての化学品には未知の有害性が有り得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。本品の適正に関する決定は、使用者の責任において行って下さい。